

# 台湾青森りんご友の会情報交換会

## 会 議 資 料

資料 1	青森県りんご輸出協会理事長御挨拶	1 頁
資料 2	青森県知事御挨拶	2 頁
資料 3	2015 年産りんごの生産状況について	3 頁
資料 4	台湾へのりんご輸出拡大に向けた 青森県の取組について	5 頁
資料 5	2015 年産台湾宣伝事業について	7 頁

2015 年 10 月 5 日

青 森 県

青森県りんご対策協議会

青森県りんご輸出協会

## 次 第

### 1 挨拶

- |                   |      |
|-------------------|------|
| (1) 青森県りんご輸出協会理事長 | 太田一民 |
| (2) 青森県知事         | 三村申吾 |
| (3) 台湾側代表         | 頼 澤涵 |

### 2 2015年産りんごの生産状況と台湾への輸出について

- |                |      |
|----------------|------|
| (1) 青森県りんご研究所長 | 荒井茂充 |
| (2) 青森県国際経済課長  | 三上洋輝 |
| (3) りんご対策協議会会長 | 加川雅人 |

### 3 情報交換

- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| 進行：青森県りんご対策協議会・青森県りんご輸出協会専務理事 | 丹代金一 |
|-------------------------------|------|

開催場所：ホテルニューキャッスル  
青森県弘前市鞆師町 24-1

# 平成27年度台湾青森りんご友の会情報交換会概要

(青森県台湾向け青森りんごレベルアップ事業)

- 1 日 時 平成27年10月5日(月) 午後3時～午後5時20分
- 2 場 所 ホテルニューキャッスル3階麗峰の間(弘前市上鞆師町24-1)
- 3 出席者 台湾側: 6社、13名、日本側: 62名、合計75名  
(出席者名簿: 別紙)
- 4 内容(座長: 青森県りんご輸出協会丹代専務、通訳: 運盈商事鈴木社長)

## (1) あいさつ

①一般社団法人青森県りんご輸出協会 理事長 太田一民



本日は、ご多忙の中、台湾で青森りんごを取引いただいている台湾中部地域の台湾青森りんご友の会の代表にご出席いただき、心より厚くお礼申し上げます。

台湾青森りんご友の会は、2012年10月に当協会が台湾の貿易業者や仲卸業者と青森県のりんご関係者が一層の絆を深めるために創設しました。

さて、2014年産の日本のりんご輸出は3万tを上回り、過去最大の輸出量となりました。その中で最大の輸出先は台湾で、2万3千トンと過去2番目の出荷量となりました。

2015年産の台湾向け輸出量は3万トンを目標としています。これを達成するために青森県、りんご関係機関・団体が一丸となって台湾の消費者への積極的な宣伝活動を進め、青森りんご友の会の会員との連携を強化することとしています。

本日は、参加者の皆様から産地の状況をご覧いただいた上で、今後の青森りんご輸出促進に当たっての忌憚のない積極的な意見交換をいただき、本日の情報交換会を有意義なものとして参りたいと思いますので、最後までご協力くださるようお願いして、開会のご挨拶といたします。

②青森県知事 三村申吾



ようこそ青森へおこしいただきました。思い起こせば台中で青森りんご友の会を作った頃のことを思い出しています。常日頃から青森のりんごを応援いただいておりますが、友の会の皆さんが居てこそますます台湾の皆さんに青森のりんごをお届けできると感じています。

今年もりんご畑に行っていたいただいたと思いますが、とても美味しいりんごが沢山できています。トキは終わりましたが、これからふじと王林が美味しくなります(りんごのTシャツを着替えながら)。12月になると台北マラソンが開かれます。その頃私がふじと王林を持ってキャンペーンに伺います。台湾は選挙で忙しいでしょうが、私が皆さんを幸せにしたいと思います。よろしく申し上げます。

③台湾新果國際有限公司管理部長 賴 澤涵



皆さんこんにちは。本日はこのような機会をいただき、皆さんとお会いできることに感謝しています。台湾側を代表して皆さんに感謝の意を申し上げます。

ここで私の会社について紹介します。台湾新果は30年の歴史があり、自社の冷蔵庫を持って台湾全土に販売しています。販売先は市場、スーパー、小売店で、中国に輸出も行っています。世界の11カ国からりんごを輸入しています。今回同行している仲卸業者さんは20年以上の経験のある会社ばかりで、お互い信頼しながら商売をしています。当社の販売の中でりんごは最も多く、日本のりんごは輸入割当て時代から扱っています。アメリカ、チリ、日本のりんごを年間65万ケース扱っています。特に日本産の扱いを増やして行きたいと考えています。

本日は、朝から産地市場、選果場、農園を見せていただき、日本のりんごの理解が深まりました。今後の販売に活かして行きたいと考えています。青森りんごの更なる数量拡大につなげて行きたいのでよろしくお願いします。

## (2) 2015年産りんごの生産状況と台湾への輸出について

生産状況については、青森県産業技術センターりんご研究所荒井所長から、台湾への輸出については、青森県国際経済課三上課長から、さらに台湾宣伝事業について青森県りんご対策協議会加川会長並びに高澤事務局長から資料に沿って説明がなされた。

特に加川会長から資料説明とは別に挨拶があり、今年の台湾向け輸出量3万tについて、これを達成するためにりんご対策協議会で、台湾各地で宣伝活動を実施する。皆さんにお願いしたいのは、輸出3万tを達成するためには、味の良いいんごを輸出する必要があるので、台湾の皆さんはあまり早くりんごをくれと言わないでほしい。と訴えた。



(別紙資料参照)

## (3) 情報交換(座長：青森県りんご輸出協会丹代専務)

【台湾の状況等について (話題提供)】

<佳興青果行 蘇 玉春さん>

・私は市場で販売に携わっているが、お客さんは蜜入りに関心がある。今年のリんご

の蜜入りの状況はどうか？

→（りんご研究所荒井所長）現時点では何ともいえないが、生育が進んでいるので蜜は入ると思う。

・森山農園にいった時に試食したりんご(早生ふじ)は蜜が入っていた。ふじの見通しはどうか？

→(チャレンジャー森山さん)当園では収穫時期が遅くなると必ず蜜が入る。今年は11月10日以降に収穫するものは間違いなく蜜が入る。

・今回初めて選果場を見たが、安心して販売できると感じた。

・有袋ふじが年々高くなるが、その原因は何か？

→（鳴海りんご果樹課長）有袋栽培は大変手間がかかる。最近は労働力不足で有袋がふじ全体の2割台に減少して、高級感が出てきているからではないか。

・今年も円安が続いているので、皆さんが目標としている3万tは達成できると思う。販売に回る新しい品種はないのか。

→（全農笹森課長）トキに続く品種として群馬名月が期待できる。



<順利鮮果行 鐘 淑女さん>

・今回生産園地や産地市場を見学して、安心・安全なりんごが生産されていることが理解できた。台湾に帰って台湾の消費者に安心して紹介することができると感じた。

・台湾の市場ではトキをはじめ美味しいりんごなら販売数量を伸ばすことは可能である。

・今年は9月の早い時期から青森りんごが輸入されたが、黄王の一部にかっ変したりんごが見られた。その原因はなにか？

→(丹代専務)収穫後5日間は予冷する申し合わせをしているが、十分予冷されなかったため炭酸ガス障害を起こしていると思う。

→（白藤理事）台湾側で早く積むよう要請したからだと思う。十分予冷せずに出荷して炭酸ガス障害を起こしている。

・青森りんごの生産から宣伝までの取り組み姿勢は理解できた。後は販売できる価格設定になるようお願いしたい。



### 【総合討議】

座長（丹代専務）：これから自由な意見交換を行いたい。テーマは特に定めないが、青森りんごの宣伝や輸出拡大の方策、3万t目標の達成のためにやることなど総合的に議論したいので、意見を出してほしい。

<チャレンジャー桜庭さん>

・サンふじの着色のために反射シートを敷いている。しかし、規模が大きいので大変な作業になっている。必要性はあるか？

→（農林青果行 林 雯淨さん）台湾のお客さんは、赤いりんごであれば1番目に色がどうかを見ます。赤ければお客さんは寄ってきます。2点目に甘いかどうかを確かめます。3点目は硬いかどうかを確かめます。だから、1番目の赤いかどうかは最も大事な要素なので、是非綺麗な赤いりんごを作ってください。



<台湾新果國際有限公司 溫 桂貞さん>

- ・貿易会社の立場からすると日本のりんごを輸入する際は、放射能検査を受けなければならないが、いつも大丈夫か心配している。どうなっているか？
- (国際経済課佐藤主幹) 青森県でも定期的にサンプル調査を実施しているが、これまで放射能は検出されたことはない。
- ・農薬残留検査も抽選で調べられることがあるが、こちらはどうなっているか？
- (りんご果樹課間山主幹) 日本と台湾の残留農薬基準を一覧表にして生産者に示し、残留基準に抵触しないような農薬の使い方をするよう指導している。
- (丹代専務) 放射能も農薬も問題ありません。安心・安全な青森りんごですから自信をもって販売してください。

#### <輸出協会 葛西理事>

- ・今回台湾から訪問した方に女性が多くてうれしく思っている。私の会社では、社長も選果場の責任者も女性が勤めている。皆さんも女性の目線できめ細やかな商売をなされていると思う。
- 台湾でお客様の反応の良いりんごは何か？
- 蜜入りのサンふじが一番

#### <全農あおもり 棟方部長>

- ・JAグループは生産から販売まで担っている団体です。今日は9名の農協職員が出席予定だったが、先週の強風被害の調査のために欠席している。今日の情報交換会の内容は職員に伝えたい。
- ・2015年産のりんご取扱い数量はJAグループ全体で14万5千トンを目指している。うち輸出は4%程度なので、これから拡大していきたい。
- ・安全・安心に関しては、国内向けでは農薬残留検査を実施している。台湾では残留基準が異なる農薬もあるので、その辺を是正しながら対応したい。

#### <輸出組合 中村理事長>

- ・今の台湾では、トキの価格がさまざまな値段で出ていると聞いている。これは、台湾の方からトキがほしい、誰よりも早くほしいという声があまりにも多すぎたから。弘果を見て貰ったと思うが、トキは数が限られているので、相場が高騰してしまった。早くほしいということは、不味いりんごをほしいという意味につながる。青森県では味の良いものを作ろうという指導をしてきた。落ち着いて、ゆっくりと、味の乗った、価格の落ち着いたりんごを買ってもらいたい。
- (自信青果行 董 慶珠さん) 今年は、特別な年。2度の台風が台湾を直撃して、国産の果物がなくなってしまった。例年は9月まで残っているチリ産のりんごに褐変が発生して早く切り上げたこと。仲秋の名月が9月17日だったことなどが重なって、代替の果実として、日本のりんごに注文が殺到した。

#### <ジェトロ 奥所長>

- ・①台湾における日本のりんごの位置づけは？②りんごを消費しているのはどうゆう年代か？③競合する果物は何か？

→(台湾新果 温桂貞さん) ①会社によって違うが、台湾新果の場合、1番目はチリ、2番目はアメリカ、3番目が日本、4番目はニュージーランド、NZは関税が撤廃されたので伸びていくと思う。②年齢に関係なく若い人から年寄りまで食べている。③キウイフルーツ。NZの宣伝が戦略的だから。

<台湾新果 頼 澤涵さん>

- ・りんごを使った料理番組を作って、りんごの栄養とか食後の健康効果を訴えるようなことをしたらどうか。

<マルタカ物産 高木常務>

- ・輸出3万tを達成するために、ハネものの輸出も考えるべきではないか。

→(台湾新果 温 桂貞さん) 台湾市場には良いものなら高くても買うというお客さんはいる。傷物は売れるが単価は安くなる。価格があえば取引はできるだろう。情報交換会は以上で終了

## 6 台湾青森りんご友の会認定証交付

台湾青森りんご友の会は2012年10月に創設されたが、今回新たに加わった6社に対して認定証を交付した。

これまで認定している53社と合わせると全体で59社が会員となっている。

認定証は懇親会の会場で太田理事長から6社の代表に交付された。



## 7 産地見学

情報交換会に先立って、台湾からの招待者を産地見学ご案内した。

### 訪問先

#### ① 弘果弘前中央青果市場見学



#### ② 青森県りんご研究所見学



③ マルジンサンアップル選果場見学



④ 森山聡彦園（弘前市樹木 青森県りんご輸出チャレンジャー）



⑤ 貞昌寺（台湾を支援した山田兄弟の碑を見学）



出席者名簿

台湾側

番号	所 属	氏 名
1	農林青果行(嘉義)	林 雯淨
2	農林青果行(嘉義)	賴 芬幸
3	自信青果行(員林)	劉 麗棉
4	自信青果行(員林)	董 慶珠
5	佳興青果行(台中中清)	楊 銘墩
6	佳興青果行(台中中清)	蘇 玉春
7	順利鮮果屋(桃園)	陳 怡文
8	順利鮮果屋(桃園)	鐘 淑女
9	振福青果行(豐原)	張 文福
10	振福青果行(豐原)	張陳錦綉
11	台灣新果國際有限公司	賴 澤涵
12	台灣新果國際有限公司	賴 芬滿
13	台灣新果國際有限公司	溫 桂貞
14	(有)運盈商事	鈴木 明達

日本側 (出席予定者を含む)

番号	所 属	氏 名
	<一般>	
1	青森県知事	三村 申吾
2	青森県国際経済課長	三上 洋輝
3	青森県国際経済課総括主幹	長内 昌彦
4	青森県国際経済課主幹	佐藤 新吾
5	青森県りんご果樹課長	鳴海 和人
6	青森県りんご果樹課主幹	間山 三紀夫
7	青森県りんご研究所長	荒井 茂充
8	青森県りんご協会技師	齋藤 隆房
9	青森県りんご協会書記	千葉 一輝
10	青森県りんご対策協議会会長	加川 雅人
11	青森県りんご対策協議会局長	高澤 至
12	青森県りんご商協連会長	高木 登
13	青森りんご輸出協同組合理事長	中村 輝夫
14	EMグローバル(株)代表取締役	今井 正直
15	EMグローバル(株)取締役部長	古川 雄
16	(株)UNIS代表取締役	徐 正光
17	JIN BRIDGE TRADING CO. LTD	WINNIE HSU

番号	所 属	氏 名
18	(株)ファーストインターナショナル営業部	久保 映矩
19	神果神戸青果執行役員部長	義則 純生
20	(株)富島商事代表取締役	島崎 健治
21	(株)富島商事	王 婷
22	東海海運(株)係長	清水 信昭
23	東海海運(株)	治尾 泰之
24	ペガサスグローバルエクスプレス課長代理	能澤 一裕
25	ジェットロ青森貿易センター所長	奥 貴史
26	同上アドバイザー	村井 京太
27	陽明日本(株)総統括部長	土肥 康保
28	陽明日本(株)統括部長	劉 季芳
29	陽明日本(株)課長代理	藤掛 純也
	<チャレンジャー等>	
30	JA 青森りんご部次長	福士 幸樹
31	JA 相馬村販売課次長	三上 悟行
32	JA 津軽みらいりんご課課長	盛 明德
33	JA 津軽みらいりんご課調査役	阿部 一輝
34	JA 津軽みらいりんご課係長	工藤 貢
35	JA 津軽みらいりんご課係長	横山 毅
36	JA つがる弘前りんご課係長	本間 健
37	JA ごしょつがる野菜果実課課長	新谷 馨
38	JA つがるにしきた次長	神 嘉孝
39	りんごチャレンジャー	森山 聡彦
40	りんごチャレンジャー	外崎 裕一
41	りんごチャレンジャー	東 正貴
42	りんごチャレンジャー	成田 晃
43	りんごチャレンジャー	西村 春貴
44	りんごチャレンジャー	桜庭 政春
45	りんごチャレンジャー	齋藤 寿
46	りんごチャレンジャー	工藤 静夫
47	東青県民局地域農林水産部主査	白川 真美子
48	中南県民局地域農林水産部主幹	笠井 雅史
49	三八県民局地域農林水産部主幹	鈴木 均
50	西北県民局地域農林水産部主幹	太田 江美子
	<会員>	
51	青森県りんご輸出協会理事長	太田 一民
52	青森県りんご輸出協会専務	丹代 金一
53	青森県りんご輸出協会常務	北山 敏光
54	青森県りんご輸出協会理事	鍛 恒雄

55	青森県りんご輸出協会理事	白藤 孝仁
56	青森県りんご輸出協会理事	葛西 綾子
57	青森県りんご共販協同組合監事	竹谷 保
58	ナカショウ代表取締役	長尾 清秀
59	全農あおもりりんご部部長	棟方 清治
60	全農あおもりりんご部課長	笹森 俊充
61	マルタカ物産代表常務取締役	高木 健太郎
62	ヤマタ太田りんご移出専務取締役	太田 雅晴

## 資料 1

## 青森県りんご輸出協会理事長御挨拶

台湾青森りんご友の会情報交換会の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

台湾青森りんご友の会は、2012年10月に台湾の貿易業者や仲卸業者と青森県のりんご関係者が一層の絆を深めるために創設されました。私たち青森県のりんご関係者は、本日お集まりの皆様を青森りんごの台湾での販売に当たっては特別大事な存在だと考えています。台湾では皆様方の日頃からのご努力とご協力によって、青森りんごが順調に取引され、台湾・青森双方の利益に大きく貢献しています。

本日は、ご多忙の中、台湾で青森りんごを取引きいただいている台湾中部地域の台湾青森りんご友の会の代表の皆様にご出席頂き、心より厚くお礼申し上げます。

さて、2014年産の日本のりんご輸出は3万tを上回り、過去最大の輸出量となりました。その中で最大の輸出先は台湾で、2万3千トンと過去2番目の輸出量となっています。

台湾市場は青森りんごにとって大変大事な市場であり、台湾への輸出動向が日本国内でのりんご価格形成にも大きく影響してきたところでもあります。このため、台湾向け輸出量の拡大は本県りんご産業にとって重大な課題となっていると認識しています。2015年産は3万トンを目指しています。これを達成するために青森県政府、りんご関係機関・団体が一丸となって台湾の消費者への積極的な宣伝活動を進めたり、青森りんご友の会の会員との連携を強化することとしています。

本日は、参加者の皆様から産地の状況をご覧いただいた上で、今後の青森りんご輸出促進に当たっての忌憚のない積極的な意見交換をいただき、本日の情報交換会を有意義なものとして参りたいと思っておりますので、最後までご協力くださるようお願いして、開会のご挨拶といたします。

一般社団法人青森県りんご輸出協会理事長 太田 一民

## 資料 2

### 青森県知事挨拶

「台湾青森りんご友の会」の皆様、ようこそ青森県においでくださいました。県民を代表して心から歓迎申し上げます。

皆様には、台湾における青森りんごの輸入と販売に多大な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、青森りんごの美味しさ・品質の高さを最も御理解いただいている台湾の皆様には、世界各国のりんごの中から、特別な方への贈り物として青森りんごを選んでいただくなど、格別の御愛顧をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、2014年産の青森りんごは、食味や着色など品質が良好に仕上がったことや円安傾向で輸出環境も良好だったことから、輸出量は3万115トン、輸出金額は109億9千6百63万円と、ともに過去最高を記録し、この約八割が台湾向けの輸出となっています。

これもひとえに、生産者のたゆまぬ努力はもちろんのこと、青森りんごを積極的に輸入していただいた「台湾青森りんご友の会」の皆様並びに輸出に携わる本県関係者の皆様の御尽力によるものと思っています。誠にありがとうございます。

また、台湾政府が去る5月15日に施行した輸入規制については、りんごの輸出にブレーキがかかるのではないかと懸念されましたが、「台湾青森りんご友の会」の皆様がこの規制に対して、台湾政府への意見提出という形で行動を起こしていただいたと伺った時、私は大変心強く感じました。

おかげさまをもちまして、りんごについては既存の植物検疫証明書で対応可能であるとの見解が台湾政府から示され、好調なりんご輸出の維持につながったと思っています。

本年産のりんごについては、本日園地でご覧になったとおり、順調に生育し、品質・量ともに申し分ない仕上がりになっていますので、今年も台湾の皆様には美味しい青森りんごをお届けできるものと思っています。

12月には、私と青森りんご販売関係者らで台湾を訪問し、台北国際マラソンや販売促進イベントの場で消費者の皆様と直接触れあいながら「青森りんご」をPRしていきたいと思っています。関係者の皆様には一層の販売促進に向け、御支援・御協力をお願い申し上げます。

結びに、本日の情報交換会が有意義なものになりますことを祈念するとともに、一層の輸出拡大に向けて、本日御参会の皆様のお力添えを賜りますことを心からお願い申し上げます、御挨拶といたします。

平成27年10月5日

青森県知事 三村 申吾

### 資料3

### 2015年産りんごの生産状況について

#### 1 りんごの生育ステージ

3月下旬以降、気温が高めに推移したことから、りんごの開花日は平年より9日早まりました。

表1 りんごの生育ステージ りんご研究所（黒石市）

品 種	年 次	発芽日	開花日	満開日	落花日
ふ じ	本 年	3月30日	4月29日	5月 2日	5月 5日
	平 年	4月 9日	5月 8日	5月14日	5月18日
	平年差	早 10日	早 9日	早 12日	早 13日
つがる	本 年	3月30日	4月29日	5月 2日	5月 7日
	平 年	4月 8日	5月 8日	5月13日	5月18日
	平年差	早 9日	早 9日	早 11日	早 11日
ジョナゴールド	本 年	3月28日	4月28日	5月 1日	5月 5日
	平 年	4月 6日	5月 7日	5月13日	5月17日
	平年差	早 9日	早 9日	早 12日	早 12日
王 林	本 年	3月29日	4月27日	5月 1日	5月 3日
	平 年	4月 8日	5月 6日	5月12日	5月16日
	平年差	早 10日	早 9日	早 11日	早 13日

注) 平年値：1991年から2010年までの20か年平均。

#### 2 果実の肥大状況

開花が平年より早く、その後も大きな自然災害がなく天候に恵まれたため、9月1日の調査では、横径の平年比が105～107%と平年を上回っています。

表2 りんご果実肥大経過（横径） りんご研究所（黒石市）

品 種	調査日	本 年 (cm)	平 年 (cm)	前 年 (cm)	平年比 (%)	前年比 (%)
ふ じ	6月 1日	2.6	1.4	1.9	186	137
	7月 1日	4.8	4.0	4.4	120	109
	8月 1日	6.6	6.0	6.2	110	106
	9月 1日	7.9	7.5	7.9	105	100
つがる	6月 1日	2.9	1.6	2.1	181	138
	7月 1日	5.5	4.4	4.9	125	112
	8月 1日	7.4	6.9	7.1	107	104
	9月 1日	8.7	8.3	8.5	105	102
ジョナゴールド	6月 1日	3.1	1.7	2.3	182	135
	7月 1日	5.6	4.5	5.2	124	108
	8月 1日	7.4	6.8	7.2	109	103
	9月 1日	8.7	8.1	8.6	107	101

注) 平年値：1991年～2010年の20か年平均。

ただし‘ふじ’及び‘ジョナゴールド’は1991年を除く19か年平均。

### 3 2015年産りんごの予想収穫量

2015年産りんごは、開花期間中好天であったことから結実量が多く、十分な着果量となっており、果実肥大は、平年を上回っています。

2015年産りんごの予想収穫量は、前年収穫量を6,600トン上回る47万4,600トンが見込まれています。

表3 2015年産りんごの予想収穫量（2015年8月1日現在）

品 種	結果樹面積 (ha)	予想収穫量 (t)	前年収穫量 (t)	前年収穫量 との差(t)	前年対比 (%)
つ が る	2,290	48,100	50,600	-2,500	95
ジョナゴールド	2,040	49,000	45,700	+3,300	107
王 林	2,170	47,700	47,100	+600	101
ふ じ	9,660	241,500	235,500	+6,000	103
そ の 他	3,840	88,300	89,100	-800	99
計	20,000	474,600	468,000	+6,600	101

注) 1 結果樹面積は、県りんご果樹課推定値

2 前年収穫量は、国公表の実績値

3 前年対比は、前年収穫量に対する比率

### 4 病害虫の発生状況等

病害虫の発生は、全般に少ない状況です。

台湾向け輸りんごについては、選果こん包登録施設事業者に対し、モモシンクイガ被害果実の排除の徹底等に関する研修会を開催したほか、台湾の農薬残留基準値の設定状況について、県ホームページへ掲載し、広く周知に努めています。

## 資料4

### 台湾へのりんご輸出拡大に向けた青森県の取組について

#### 1 輸出の現状と目標

青森県では、青森りんごの輸出目標数量3万トン掲げて、台湾をはじめとする東アジアや経済成長著しい東南アジアを主なターゲットに輸出拡大に取り組んでいます。

その中で最も重要な輸出先に位置づけているのが台湾であり、全輸出量の約8割が台湾向けとなっています。

#### (1) 台湾へのりんご輸出目標と実績

年産	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
全体数量 (トン)	25,497	22,256	23,867	17,940	9,867	14,898	19,889	30,115
台湾向け 数量(トン)	23,878	20,498	21,656	15,912	8,459	13,214	16,561	23,417
割合 (%)	93.6	92.1	90.7	88.7	85.7	88.7	83.3	77.8

台湾がWTOに加盟した2002年以降、台湾へのりんごの輸出は順調に伸び、2006年産から2009年産までの4年間は、連続して2万トンを超えました。

しかし、2010年産以降は、世界的な景気後退や記録的な円高等により減少し、特に、2011年産では不作に伴う産地価格の高騰もあって激減しました。

それ以降、台湾の販売関係者の皆様の御協力により徐々に回復し、2014年産は、2007年産に次ぐ2万3,417トンとなりました。

#### (2) 今年産りんごの台湾への輸出希望数量

2015年産輸出希望数量	3万トン以上
--------------	--------

2015年産のりんごは、前年を6,600トン上回る47万4,600トンの収穫量が見込まれており、十分な生産量を確保できる見通しです。青森県では、今後の生産管理に万全を期して、高品質・良食味なりんごを皆様に供給したいと考えています。

本年産の輸出量が3万トン以上になるよう御協力をお願いします。

<品種別希望割合>

品 種	サンふじ	ふ じ	ト キ	王 林	世界一	その他
割 合	50%	30%	5%	5%	5%	5%

本年産も「ふじ」を中心にしながら、「トキ」や「王林」など黄色りんごも一定量輸出したいと考えています。

2 台湾への輸出対策

台湾の皆様へ安全・安心、高品質で美味しい青森りんごを提供するため、青森県では関係者一同力を合わせて次の対策に取り組んでいます。

(1) 生産・流通対策

- ①農薬の適正使用により、病虫害の防除を徹底します。
- ②黄色品種については「カラーチャート」の利用による適期収穫を徹底します。
- ③炭酸ガス障害（褐変）防止対策に取り組めます。

(2) 輸出拡大対策

- ①りんご生産者等の輸出を目指したりんご生産への意識を高め、高品質で良食味な生産により青森りんごの競争力を強化します。
- ②台湾のりんご販売関係者の産地招へいや産地情報の提供により、台湾側関係者との信頼関係を強化します。

実施時期	内 容
2015年10月	<p>○台湾販売関係者の産地招へい</p> <p>県りんご輸出協会が設立した「台湾青森りんご友の会」の会員である台湾の輸入業者等を招へいし、産地視察や関係者・生産者との意見交換会を実施</p>
2015年12月	<p>○台湾での販売状況調査・意見交換会</p> <p>生産者・農協等が台湾における店頭販売や市場調査を通じて販売状況を把握するとともに、台湾の販売関係者との意見交換会を実施</p> <p>○知事トップセールス</p> <p>青森りんごキャンペーンにおける台湾のスーパーマーケット等での試食宣伝販売や台北国際マラソン等でのPR</p>
2016年2月	<p>○輸出対策の検討</p> <p>台湾における販売状況調査や意見交換会の結果を踏まえ、今後の輸出対策を検討</p>
2015年9月 ～ 2016年3月	<p>○産地情報の発信</p> <p>「台湾青森りんご友の会」の会員である輸入業者等を通じて、台湾の販売関係者にメールマガジン等により産地情報を提供</p>

## 資料 5

## 2015 年産青森りんご台湾宣伝事業について

### (1) 「トキ」PR、キャンペーンスタッフ養成

10月の毎週土曜、日曜日台北第一果菜市场及び第二果菜市场と台湾北部の量販店40店舗においてキャンペーンスタッフによる試食PRをおこなう。キャンペーンスタッフに対して事前に青森りんごの講習会を実施する。



### (2) 台湾マスメディア産地招待事業

台湾の雑誌、テレビを青森に招待し、青森りんごについて理解を深めてもらい、記事やニュースとして情報を発信する。

日程：2015年10月15日～16日

参加予定：自由時報、聯合報、アップルデーリー、中国時報予定、FTVほか



### (3) 企業向け青森りんご試食会

雑誌出版社及び食品メーカーを訪問し、社員にりんご配布などをおこなう。



### (4) 小売店でのPRイベント及び試食宣伝

#### ① 試食PR (約300店舗) キャラバンイベント (中核店10店舗程度)

実施時期：2015年12月～2016年1月

- ・SOGO 忠孝店 ・Wellcome (200店) ・JASON'S (7店舗)
- ・松青超市 (75店舗) ・大潤發 RT マート(19店舗)
- ・台灣楓康超市 (10店舗) ・カルフル (20店舗)

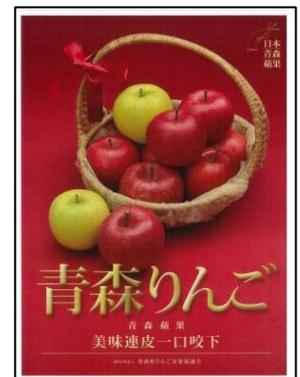


① ステージイベント、VIP特別試食会

平成2015年12月19日(土)～20日(日)、  
平成2016年1月22日(金)～25日(月)

- ・SOGO 忠孝店 ・大潤發・カルフル ・Wellcome (台北市)
- ・SOGO廣三店 ・台灣楓康超市 (台中市)
- ・漢神百貨店(高雄市)

(5) 販売促進資材の作製、配布



(6) 流通関係者との会議、行政関係機関等訪問など

- ・台湾流通関係者との意見交換会 ・行政関係機関等訪問
- ・台北マラソンへの参加 ・幼稚園、福祉施設訪問



(7) テレビ宣伝 (CM200本 タイアップ番組3本 放送)

ケーブルテレビ(ゴールデンTV)宣伝 (CM1カ月120本)



(8) 新聞、雑誌への記事、広告掲載

- ・新聞自由時報、聯合報、アップルデーリー、中国時報
- ・雑誌 「康健」「壹週刊」「媽媽寶寶」・台湾高鐵車内紙「TLife」



(9) テレビ番組「嫁粧」ロケに協力

女優チェンメイフオンの青森りんごプロモーション参加

